

---

# エイブラハムさんが聖杯戦争に召喚されました

戸井万

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

エイブラハムさんが聖杯戦争に召喚されました

### 【Zコード】

Z5435BA

### 【作者名】

戸井万

### 【あらすじ】

こんなに書いているから本編が進まない！全てアイリスさんが可愛いのがいけないんや！

俺TRUEEEEEEが好きな人には向いてませんからブラウザバックか強制シャットダウンか人生の幕を下ろして御戾り下さいませ

とりあえず魔術とか宝具VS現代兵器をやりたかったから書いた後悔はしているが反省はしない

## プロローグ

素に銀と鉄。礎に石と契約の大公。  
祖には我が大師ベルベット。

力強い呪文が地下室に響き渡る、彼女は自身に満ちているのか紡  
がれる呪文にくすみは無い。

降り立つ風には壁を。

四方の門は閉じ、王冠より出で、王國に至る二叉路は循  
環せよ。

閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。

繰り返すつどに五度。

ただ、満たされる刻を破却する。

魔法陣が光り輝く、夥しい魔力が室内に充満する。

Anfang

告げる。

汝の身は我が下に、我が命運は汝の剣に。

聖杯の寄るべに従い、この意、この理に従うならば應え

よ。

誓いを此処に。

私は常世総ての善と成る者、私は常世総ての悪を敷く者。

汝三大の言靈を纏う七天、抑止の輪より来たれ

天秤の守り手よ ！

呪文を紡いだ少女は最高の当たりを確信する、今までにない最高の出来だ…そして地下室の上…リビングからとんでもない音が轟いた。

「…まさか…」

少女は階段を二つ飛ばしで駆け上がりドアを蹴り飛ばす…そのままは部屋の中心でボーゼンと立っていた男に飛んで行き…

「ぐえ…？」

直撃した、蛙が潰れた時のよつた声を出した男はこちらに怒りの瞳を向けて口を開く。

「随分なご挨拶だなマスター、それともアレか？」これは召喚された者にドアをぶつける風習でもあるのか？

少女は悪態をつく男を見て思つた、これは失敗したかもしないと…しかしもしかしてもしかするかも知れないので唾を嚥下して渴いた唇を無理矢理開いた。

「あんたクラスは？」

「無視かコラ…クラスはアーチャー、多分これが触媒になつたんだろ？」「うう」

不機嫌そうな顔をした男は落ちた天井の瓦礫の下から美術品のウインチエスター・ライフルを引っ張り出した、衝撃でストックは折れ銃身が曲がつてしまつて…もう銃としても美術品としても価値はない。

「最悪…よりによつてアーチャーだなんて…ちょっとまつて、あんた召喚した割には私全然魔力減つてないんだけど」

不機嫌そうな顔をした少女をみた男は鼻を鳴らす。

「そら俺の能力だ、目を閉じてステータス見りやわかんだろ」

男の言葉で更に不機嫌そうになつた少女だが大人しく目を閉じる  
：瞼の裏に情報が浮かび上るよう腦裏に目の前の男の情報が浮  
かぶ。

クラス：アーチャー

真名：？？？

属性：悪／秩序

筋力：C

魔力：-

耐久：A

幸運：E

敏捷：D

宝具：EX

自由人：EX：魔力を必要としないが令呪が効かない

陣地作成：A：この陣地とは工房ではなく砲撃陣地や防御陣地である  
道具作成：A：この道具とはマジックアイテムではなく電子部品を  
使用した科学的なアレである

技能

休戦条約：B：相手が王や指揮官であった場合強制的に休戦をせ  
事ができる

稀代の指揮官：A：共に戦う仲間がいる場合仲間のステータスをワ  
ンランク上昇させる

機械の王者：A：この世に存在する機械全てを己の手足のように扱  
う事が出来る

宝具

我らは平和の使者<sup>ペースマイカ</sup>：E～C

全人類の願いと希望<sup>ペースマイカ</sup>：使用不可  
俺的最終兵器<sup>スター・ブレイカー</sup>：EX

「……ちょっと待つて、何から質問するか考えているから」

少女はあまりの頭痛に頭を抱える、弱すぎるとか、訳わかんないとかそれ以前に…

「俺的最終兵器って何よ！？」

頭痛とか常識とか全てを振りきつて叫んだ、男はその金切り声を聞いて片耳を手でふわぐ、うるさいと言ふ意思表示なのは間違いないが…今はそれどころじゃない。

「ただの惑星破壊爆弾だ、自動で金属核まで掘り進んで星を粉々にしてくれる優れ物だ」

それを聞いた途端少女はぱつたりと倒れた、どうやら彼女の常識を全て振り切つてしまつたらしい…そのまま少女は寝息を立て始める…どうやら正氣を保つ為に脳が自動防御に入つたらしい

## プロローグ（後書き）

あ、感想書いてくれると嬉しいっすけど「英靈なんだから弱いのはおかしい！（キリッ）」とか「設定がおかしい！！（ドヤッ）」つてのはいらないっす、書いたら即効削除するんですよしく、もちろん荒らしも同義と見なす

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5435ba/>

---

エイブラハムさんが聖杯戦争に召喚されました

2012年1月14日22時46分発行